

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第3回）議事概要

日 時 令和4年（2022年）6月8日（水）14：00～16：00

場 所 宝塚市立中央公民館 ホール

出席者 <まちづくり協議会>

仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 小林 敏明副会長
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 山本 敏晴会長
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 押条 雅英代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長
売布小学校区まちづくり協議会 菅野 伸和副会長
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長
宝塚市美座地域まちづくり協議会 糸瀬 豊光副代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 阪上 良彦会長
中山台コミュニティ 松下 義弘会長
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 安達 みづほ代表
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 三島 基道会長
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長

<その他>

市民交流部 上田部長、浅井室長
市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他
学校教育課 伴室長、小椋係長
宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏
宝塚市社会福祉協議会 前菌課長、藤井課長
健康・生きがい就労ラボ 遠座理事長、井川副理事長、山口事務局長、堀内氏

議事概要（要旨）

- 1 自己紹介
各まちづくり協議会代表者及び市民交流部職員より自己紹介があった。
- 2 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第2回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。
- 3 令和4年度まちづくり協議会代表者交流会の活動について
副座長より、開催の留意点、重点項目、ワークショップの実施概要について説明し、原案のまま承認された。

4 コミュニティ・スクールについて

学校教育課より、配布資料に基づき、説明があったのち、意見交換が行われた。意見の概要は以下の通り。

- ア 今回の説明は、全校に導入するという事で説明しているのか、平成30年度から方針を少し変えるという事で説明しているのか。学校と地域と家庭でこういう子供を育てていこうという方針があるが、地域も含めて全体に浸透しているのか。学校運営協議会で決まった内容は、公開し、それぞれの役割を三者で共有することができているのか。
- イ (市) まず、これまでやってきたこととの違いを整理すると、平成30年～令和3年度で導入してきた学校運営協議会は、法律に基づいていない学校運営協議会である。つまり3つの機能(学校運営の基本方針の承認、学校運営に対する意見、教職員の任用に関する意見)が明記されていなかった。令和4年度から導入するものは明記されているもの、法律に則った学校運営協議会ということになってくる。これまで導入してきたところは令和4年度から発展するかたちとなり、これまで導入してこなかったところは令和4年度からのものでやっていただく。これまでやってきたものと今回のものとの違いは、3つの機能の違いがある。ただ、支援のかたちは大きく変わらないと考えているが、明記することによって、話し合いがしやすくなったり、規約で物事が決まっていくという部分で変えていった。浸透しているのかということについては、学校によって状況が異なる。(実際に)学校から上がってくる課題として、学校は学校だより等で出す教育目標を説明しているが、(地域は)分かりましたということで、議論が出来ていない例を聞く。休みの日や公園での様子等の学校が見えない部分を話してもらい、いろんな立場から見える子供達の現状を話し合ってもらえたらと思っている。どこまでそれができているかという、まだすべての学校でできていないと認識している。
- ウ 自身の実感としては、地域でこういう子供を育てていこうというのを(これまで)あまり聞いたことがない。学校の運用方針について話されているが、前の段階として地域でこういう子供を育てていこうというのが先にあると初めて、そのうえで出てきた学校の運用方針を認めるかどうかであると思う。三者で話し合っ、地域でこういう子供を育てていこうと決まった例はこれまでにあるのか。
- エ (市) 承認をされた内容について、分からないのが正直なところ。学校へ教育目標や経営方針を出すのはあくまで学校教育の部分となっているのが現状である。そこに地域ではこうだということまでいっていないのを実感している。ただ、話し合う場で、地域から学校の知らない部分を言っ、そこから発展をして、学校教育、地域がそれぞれこういったことをしますという風になればいいかなと思っている。
- オ 今までのコミュニティ・スクールと今回のコミュニティ・スクールについてどこが違うのか、パワーポイントの表を用いて説明してほしい。
- カ (市) 表記が一部明らかに変わっている。「共有」という表記が「承認」となった。これまでも総合的な立案、企画については、この組織ですることとなっていたため、県の教育委員会に意見を出せる表になっていなかったの、そこも新しく追加した。「熟議」「協働」も明記して、そういった役割を担っているというところが分かるようにした。
- キ 我々(各まちづくり協議会)は何を変えればよいかを具体的に(教えてほしい)。
- ク (市) 熟議と協働という言葉については、既にされているところとされていないところがあると考えている。学校の説明に対して、地域が「地域ではこうですよ」等と意見を出し、そこで発展をしていってプラスのものが出来上がっていく流れを、既にされているのであれば何も変わらない。ただ、学校が説明をするのみで、留まっている会議があるのであれば、今回明記をしたので、やっていくように努力をしていきましょうということ。そこは学校運営協議会によって異なっていると思う。
- ケ 協働と熟議について、これまでも念頭において活動してきた。その場合は、何が変わ

- るのか。具体的に私達は何をすれば新しい方式に対応できるのか。
- コ (市) 熟議と協働について、既に認識いただいで活動いただいでいれば特に変わりはない。学校としては、これまで明記がなかったことで認識が甘かった部分があるため、学校としてもこうやって運営していったらいいというメッセージを込めている。何が変わるかというところについては、変化は大きくないという話に戻らと思う。
- サ 何も変わらなくてもいいのではないかという風に聞こえる。何を变えたのか。变える理由は何だったのか。
- シ (市) はっきりと熟議、協働と明記したことが大きな変化である。
- ス パワーポイントの図が変わったことは分かるが、中身はどう変えたのかを聞いている。委員としてはどう変わればいいのか。
- セ 今までの説明は抽象的で仕組みのことだけを言っており、メンバーとして入った時に何をしたらいいか分からない。例えば、先進校は具体的に何をして、どのように内容を変えたのか変わってないのか、新しくやってよかったこと等、具体的な事例を教えてください。
- ソ (市) 令和3年度までの事例は、いくつか例があるが、(新制度が導入される) 令和4年度についてはまだスタートしていない状態のため、これから取り組んでいただく。
- タ 令和4年度の方は要らない、平成30年度からの事例を教えてください。
- 予定している議事の時間を超過したため、7月の代表者交流会で再度説明・意見交換を行うこととなった。

5 地域ごとのまちづくり計画について

- (1) 令和3年度地域ごとのまちづくり計画の進捗状況及び「進捗確認シート」のポータルサイトへの掲載について
市民協働推進課より、各まちづくり協議会から提出済みの進捗確認シートについて、6/17(金)までに各まちづくり協議会でデータを確認いただいた上、6月末頃にポータルサイトへ掲載を行う旨、説明があった。

6 地域活動のデジタル化について

- (1) NPO法人 健康・生きがい就労ラボ スマホ講座について
市民協働推進課より導入説明があったのち、NPO法人健康・生きがい就労ラボより、配布資料に基づき、事業の紹介、講座の内容について説明があった。質疑応答は以下の通り。
- ア (市) 各まちづくり協議会がスマホ講座を依頼する場合、費用が掛かってくるのか。
- イ (NPO) 高齢者のプチ就労とも絡めて事業を行っているため、(費用が掛かる。) チューターへ時給1,000円+交通費を支払っている。費用の目安としては、受講者が約6名までの場合、1回1時間30分~2時間で20,000円。約15名までの場合、30,000円。約20名までの場合、40,000円。
- ウ (市) デジタル化補助金の用途の一つとして、参考にご紹介させていただいた。
- (2) まちづくり協議会補助金(第4号:デジタル化促進事業)の用途について
まちづくり協議会代表者へ情報共有を募ったが、特に発言はなかった。

7 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)~(4)について、周知を行った。

- (1) まちづくり協議会委員推薦について(第18回宝塚ハーフマラソン大会実行委員、宝塚市人権審議会委員)
市民協働推進課より、それぞれ宝塚市長尾地区まちづくり協議会、中山台コミュニティへ選出を依頼した旨、報告があった。
- (2) (※再周知) 令和4年度まちづくり協議会補助金(第4号:デジタル化促進事業)説明の日程調整について(お願い)
意見の概要は以下の通り。

- ア 各まちづくり協議会へ個別に説明をしに来てくれたが、代表者交流会での説明と内容が変わっていない。まちづくり協議会ごとの状況に合わせて具体的に説明を行ってほしい。今後、(当まちづくり協議会では) NPOセンターに相談をする際に、現状を示したうえで、足りないものは何かを見つけていきたいと考えている。
 - イ (全まちづくり協議会分をまとめて) 備品等を共同購入をすることで、(費用が)安くなるように(市が)世話をしてほしい。
 - ウ (市) 各まちづくり協議会のデジタル化に向けた検討の事例を代表者交流会の場でも皆様から共有いただければと考えている。そのうえで、イについても、意見交換をいただければと考えている。
- (3) (※再周知) 令和4年度地域活動きずな研修_若手職員参加調整表の提出について(お願い)
 - (4) (※再周知) 「仕組みに対するアンケートご協力のお願いについて」
- 8 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ
以下(1)～(3)について、依頼と周知があった。
- (1) 第7次地域福祉推進計画における「地域ごとのまちづくり計画」の掲載依頼について
意見の概要は以下の通り。
 - ア 説明資料の基本目標1～4に記載されているSDGsのNo. 11「住み続けられるまちづくりを」はすべてに入っているが、当たり前のことである。福祉の視点からはこういったものではなく、例えば、基本目標3「自分らしい暮らしを支える仕組みづくり」であれば、No. 8「働きがいも経済成長も」を入れるなど、より現実的な視点で考えた方が良いのではないかと感じた。
 - イ (社協) ご意見を参考にさせていただく。
 - (2) 宝塚市社会福祉協議会会員募集 まちづくり協議会への依頼について
 - (3) たからづかつどい場マップについて
- 9 宝塚NPOセンターからのお知らせ
以下(1)～(3)について、依頼と周知があった。また、7(2)で出た意見について、各まちづくり協議会に即した支援に向けて今後も引き続き一緒に進めていきたい旨、補足説明があった。
- (1) まちづくり協議会ポータルサイト：総会資料掲載のお願い
 - (2) 兵庫県コミュニティ・ビジネスICT活用促進事業のお知らせ
 - (3) 講座「シニアのためのセカンドキャリア塾」について
- 10 その他
特になし
- 11 今後の日程
市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以上